

私たちサヤビズは、狭山市を中心とした

中小企業・小規模事業者等の抱える

様々な経営課題解決と、

売り上げ拡大に向けた支援を行っています。

経営に、アイデアを。



狭山市ビジネスサポートセンター

Saya Biz

2019-2020年度



2年間の感謝を込めて さらなる飛躍の誓い

— Saya-Bizセンター長 小林美穂



事業者の笑顔のために Saya-Bizにこめた想い

— 狭山市長 小谷野剛

狭

山市ビジネスサポートセンターSaya-Bizは、本当に多くのご相談者の皆様、そして市や商工会議所など関係者の皆様に支えられて3年目を迎えることができました。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。また、開設当初よりBizモデルの創始者である小出宗昭氏には多くの学びを頂いてまいりました。本当に有難うございます。

振り返れば1年目は、当初の予想を上回る多くの事業者様にご活用いただき嬉しさと共に走り続けた一年でした。そして2年目は、新型コロナウイルス拡大という未曾有の環境下で、資金繰りのご相談から売上増の取り組みまで、ご相談者様と共にチャレンジを繰り返した年でした。企業様の支援のみならず、地域単位の支援まで、地域のハブとしての取り組みが実践できた年でもあったと思います。

開設当初のSaya-Bizは、来所いただく方の多くが、市役所の皆様からのお声かけで知っていただいた方でした。しかし最近では、ご相談者様からの口コミや紹介による、新規のご相談が増加しています。大変嬉しく、身の引き締まる思いです。

3年目は、新たにプロジェクトマネージャー、そして金融機関からの出向メンバーも加わり、チームSaya-Bizとしてよりスピーディーな成果創出に繋がる支援に挑んでいきます。また、この2年間で培った狭山市内および周辺企業様とのネットワークを活かし、「企業間連携による提案強化」と「積極的な販路開拓」をテーマに活動してまいります。引き続きSaya-Bizへのご理解、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

「地

域に元気を取り戻したい…」この私の想いを象徴する存在がSaya-Bizです。産業構造の転換が迫られている昨今、その波は本市にも大きな影響を与えています。静岡県富士市で始まったBizモデルはそれぞれの事業者が持つ強みを磨き、活かすことで、稼ぐ力を再構築していく取り組みでした。

市内企業の存在はまさに市の宝であり、彼らが生み出す雇用と地域経済の活性化は間違いなく市民の元気と笑顔につながります。だからこそ、地域とともに歩んできた中小企業に寄り添った支援を行うことで、持続可能な本市の発展を実現したいと考えています。

センター長に就任していただいた小林美穂さんは、平成31年の開設以来、非常に素晴らしいチームを作り上げてくれました。昨年はコロナ禍に直面し、地域経済に暗い影を落とすこととなりましたが、Saya-Bizの活躍は多くの事業者にとって心強い支えとなり、多くの実績をあげました。

通算2,500件を超える相談業務をこなすことは並大抵のことではありませんが、2月からは新たにプロジェクトマネージャーの渡部暁子さんを加え、さらにパワーアップを図りました。Saya-Bizの今後の活躍と、頑張る事業者の笑顔を心から楽しみにしています。

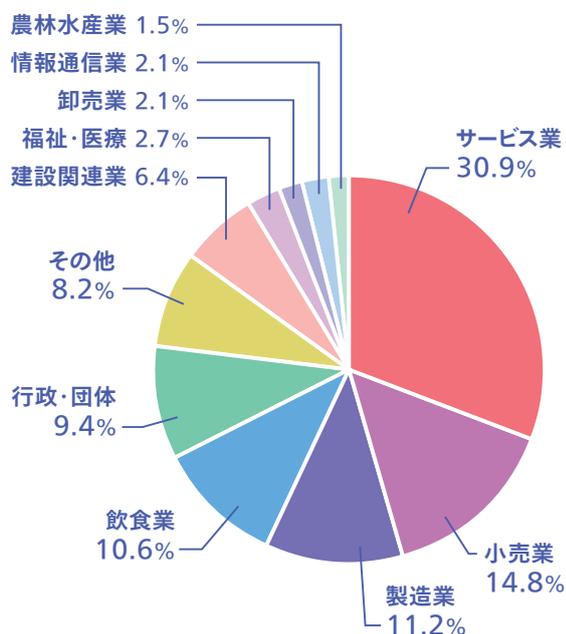
相談実績 2019-2020年度

開設から2年弱で相談件数2,000件突破と、当初の計画を大きく上回る数の相談が寄せられました。また、売上増進に繋がる成果を9割の方が実感されるなど、狭山市内を中心とした地域の事業者から大きな反響を頂いています。

〇通算相談件数(2年間)

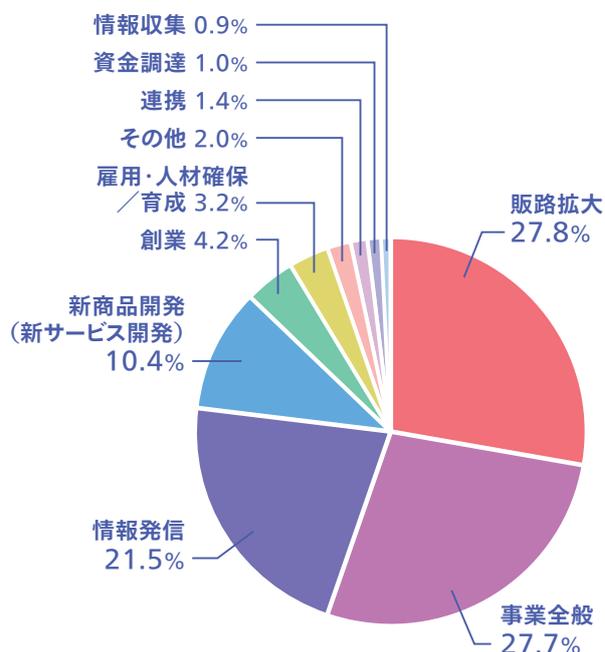
2,522件

〇業種別内訳



サービス業、小売業、製造業、飲食業の順に、様々な業種の方々にご利用いただいています。2年目は、「その他」(主に創業準備者)の割合が急増しています。

〇相談内容内訳



販路拡大、情報発信、新商品開発(新サービス開発)の売上増進に関する相談が約6割を占めています

〇リピート率

88.6%

10人中8人以上は、複数回ご利用いただいています。あらゆるご相談に対し、粘り強く伴走する姿勢が支持されているものと考えます。

〇売上増進に繋がる成果があった

90.0%

※令和2年度下半期 狭山市ビジネスサポートセンター満足度調査より

問)売上増進につながる成果について教えてください。

区分	何らかの成果があった	何も成果がなかった	合計
回答数(割合)	94件(90%)	11件(10%)	105件

新商品・新サービスの 支援事例



おうちdeクレープセット

▶ 株式会社レートリー（スカーフ工業株式会社）

業務用を「おうち時間」に 親子で楽しむ手作りクレープキット

業務用冷凍ケーキ・クレープの直販強化。「巣ごもり需要」拡大による菓子材料の品切れに注目し、親子で楽しめる手作りクレープキットを提案。TwitterやInstagramなどのSNSを駆使した発信で、楽天市場やスーパーマーケットなど新たな販路拡大に繋がっている。



埼玉ご当地セレクション・ ドリップBOX

▶ 服部園

狭山茶初のドリップ煎茶を 新たな「埼玉みやげ」に

手軽に本格的なお茶が飲める「ドリップ煎茶」を使用したギフト商品の開発。映画で火が付いた埼玉ブームを背景に「埼玉みやげ」をコンセプトとした。お茶離れしている若年層に人気の、ご当地キャラクターをパッケージに採用。新聞2紙に掲載され、新規販路拡大に繋がっている。

埼玉のおやさい ジェラート

▶ 合同会社いどり

野菜が苦手な子どもたちにも ジェラートでその魅力を届けたい

「子どもたちに地場産野菜のおいしさと魅力を伝えたい」幼稚園の園長先生の想いを実現すべく、野菜ジェラートの商品化を支援。農家さんの顔が見えるパッケージをご提案し、第一弾は、農林水産大臣賞等複数の受賞歴がある里芋（狭山市産）、ノーザンルビー（狭山市産）、にんじん（所沢市産）の全3種。



男子ごはんで夫婦飲みセット

▶ 酒商増田屋

“コロナ離婚対策”がコンセプト！ こだわりの食品とお酒のペアリング

新型コロナウイルスの影響で、飲食店やイベント向けの販売量が激減。一方で家飲みが増加している傾向をうけて、直販店での販売強化を狙う。『コロナ離婚対策』をコンセプトに、社長自らセレクトした、こだわりの菓子・つまみ・食品とお酒とのペアリングを提案し、母の日に合わせて期間限定発売した。

在宅勤務者向け 機密文書処理サービス シュレコ便

▶ 奥富興産株式会社

企業向け機密文書 処理サービスを 在宅勤務者向けにアレンジ

新型コロナウイルス感染拡大による在宅勤務の急増により、会社関係の契約書などの機密文書処理が必要な範囲が企業内から個人宅へ拡大していることに注目。既に2,200件以上の実績がある企業向け機密文書処理サービスを在宅勤務者向けにアレンジした新サービスを提案し、情報発信もサポートした。

テレワーク専用CAD CADLUS-W

▶ 株式会社ニソール

機能上の強みを生かして、 テレワーク専用製品に大変身

基板設計用CAD/CAM販売強化のため、各製品の特徴を整理。その中で製品の1つ、CADLUS-Wの「親機で複数の子機の状況が管理可能」「ネットワーク上での同時並行設計も可能」という強みに着目し、ターゲットをテレワーカーに設定。無料のオンライン講習会開催や発信強化で新聞掲載にもつながり、問い合わせ数・売上ともに増加した。



本格さといも焼酎 堀金井

▶ さといも焼酎を創る会

親芋×茶の花酵母×狭山茶粉末 さといも焼酎を新たな特産品に

さといもの「親芋」を使っていることに加え、「茶の花酵母」と「狭山茶粉末」添加で類似品と差別化。「くつろぎと癒しをもたらすオアシスのような逸品でありたい」「多くの方に狭山市へ立ち寄ってほしい」という願いを込めて「堀金井」と命名した。初ロットの500本は完売。新酒が2021年9月末に発売予定。

オンラインヨガ

▶ ワタナベスタジオ

緊急事態宣言下、1ヶ月で オンライン講座をスピード開設

設立51年目のヨガスタジオ。緊急事態宣言下でスタジオでの営業自粛を余儀なくされ、会員の退会を防ぐためのオンライン講座開設を支援。オンラインでの実施方法や、受講マニュアル作成、チケット購入サイトの構築をアドバイスし、約1ヶ月でオンラインレッスン開始までこぎつけた。退会数ゼロを達成。

姿勢美は習慣から
狭山で51年のヨガスタジオ

オンラインヨガ実施中 狭山市駅から車で10分 月額8,000円 8台完備

WATANABE STUDIO 04-2959-5548



ラグビー応援Tシャツ

▶ 有限会社MM1

短納期・小ロットでスピード制作 にわかファンの需要取り込みに成功

オリジナルユニフォーム製造業として、下請けから直販への転換を検討。多様なデザインと正確な仕上げの技術を「見える化」すべく、ラグビーワールドカップ開催にちなんだオリジナルTシャツをECサイトで発売した。短納期・小ロットで会期中の駆け込み需要取り込みに成功し、2週間足らずで注文は100枚を突破。



商品開発

▶ 和食屋

旬彩遊膳 味叶



狭山市内の自宅で開業し、10年前に狭山市笹井の現店舗に移転。ご店主の料理人歴は30年以上で、某有名和食店での修行中は25人ほどいた板前のトップ・花板を務められた経験がある。

店内飲食でも大人気のメニューが新たな“縁起のいい”弁当に変身



結果として

これまで500食以上販売
定番メニューへと成長。

市場で毎日仕入れる新鮮な魚介類や野菜を使ったメニューが人気の和食店・味叶。近年の慶事や法事、大人数での接待ニーズ減少により経営が悪化していました。

ブログやInstagramによる情報発信を強化し、経営が回復してきたのもつかの間、新型コロナウイルスの影響でランチ客が減少し、団体予約も皆無に。テイクアウトメニューの強化を議論する中で、「未曾有の事態に戸惑うお

客様を元気にするメニューづくり」をご提案しました。

「海」鮮を通じて、景気もお客様の健康も「回復」し「福」がもたらされますように、でその名も『海福井弁当』。店内飲食でも大人気の海鮮丼を軸としたお弁当です。パッケージには疫病退散を願って妖怪アマビエのイラストをあしらい、価格も末広がり888円(税別)に設定するなど、縁起の良さをとことん追求しました。



商品開発

▶ 金属部品加工

有限会社 國翔



2002年設立。ウォータージェット切断機や3Dスキャナ、マシニングセンタ等の機械を駆使して自動車・介護用品・半導体装置など様々な業界向け試作、設計、製造を行う。

世の中の新たな生活様式に答える カット技術を活かした新商品



結果として

ホテルやスパ、病院など
7ヶ月で19件受注

多様な設備と協力会社のネットワークを活かした幅広い対応力が強みの金属加工メーカー・國翔。特にウォータージェット切断機は、熱で溶けやすい素材や細かなデザインにも対応可能で、これまでタイルカーペットやネームプレートを製造していました。

コロナ禍で売上が8割減少したのを受け、「新しい生活様式のニーズに自社の技術を活かすとしたら、どんな商品が考えられるか?」という視点で目を

付けたのが「足跡フロアシート」です。

色違いのカーペットを足型にカットし、抜き合わせて作った足跡フロアシート『敷くだけソーシャルディスタンス』は、低価格・短納期で、シールが貼れない床にも設置でき、水洗い可能で衛生的。商業施設や医療関係施設での使用を想定し、緊急事態宣言解除にあわせて発売。業界初の商品としてメディアの注目を集め、日刊工業新聞、日経MJ、埼玉新聞に掲載されました。





発信強化

▶ ペットショップ

同好苑



1968年に創業した小鳥専門店。ホームセンターのペットショップが増加し、専門店が減少している中、場所も時間（13:00～19:00）も当時と変わらぬスタイルを維持。創業以来のファンも多い。

ヒントは常連客の口コミ 「長生きする小鳥」の秘訣を発信



結果として

翌月には売上50%アップ
「行列ができる小鳥屋」に

平成のペットブームとは裏腹に、新規のお客様が少ないというお悩みで来所。お話を伺う中で、常連のお客様の間では「同好苑で買った小鳥は長生きする」という口コミがあることがわかってきました。それもそのはず、社長は自宅に常に小鳥がいる環境で育ったため、かなり豊富な知識をお持ちとのこと。育て方を一から教えたり、電話での問い合わせに対応するなど、親身なアドバイスを徹底されていました。

そこで『小鳥を長生きさせる小鳥屋』をお店のコンセプトに、小鳥飼育の初心者や、家族連れを新たな顧客層として設定。GoogleマイビジネスやTwitterを通じて、小鳥飼育に関する豆知識や店内の小鳥に関する情報発信を強化しました。アクセス数はたちまち1万件を突破。投稿を見て、都内はじめ京都府など遠方の方や、若い女性の顧客層を獲得し、新たな顧客を開拓できました。



発信強化

▶ 飼い主募集型猫カフェ

保護猫カフェfunnyCat



動物指導センターに持ち込まれたり、飼い主が手放したりした猫の保護と譲渡を目的とした、飼い主募集型の保護猫カフェ。2015年6月にオープン。同ビル1階にはトリミングサロンも併設している。

成猫は相性がわかりやすいことに注目 ターゲットを絞って魅力を発信



結果として

クラウドファンディングで
目標の約5倍の支援達成

これまでに550頭以上の飼い主をみつけてきた猫カフェ・funnyCat。子猫や子犬は飼い主が決まりやすい一方、保護猫は成猫が多く、新しい飼い主探しに課題を抱えていました。

そこで、成猫は一匹一匹の性格が確立されているため、飼い主や先住との相性が分かりやすいという特徴に注目。『ペットショップでは少ない成猫の魅力を知り・触れられる場』をコンセプトに、「すでに猫を飼っている・または

飼っていた人」をターゲットに設定。個々の猫の性格がわかるイベント『ネコの生誕祭』や、SNSでの情報発信を開始し人気となりました。

また、緊急事態宣言による営業自粛や譲渡イベント中止を受け、常連客の寄付の申し出があったことから「活動に共感しているファンの多さ」に注目。5年間の保護活動の実績と社会性をアピールしたクラウドファンディングの実施を提案、サポートしました。



創業支援事例



2020年
10月
創業

せんちやく

【小売業】

「若い人にもっとお茶を飲んでほしい」という思いから、急須がいらぬ粉茶を商品化。脂っこい食事やスイーツとも相性の良い、さっぱりした口当たりから「お口美人のさっぱり茶」とネーミングし、職場のデスクや引き出しに置いて場所を取らないサイズと、かわいらしいパッケージを提案。BASEや市内小売店で販売中。



2020年
4月
創業

inclusionくるまり

【訪問美容業】

短時間でカットできるという強みを「玄関カット」というコンセプトで表現。障がいや認知症で長時間座ったままが難しい方を対象とした「スピード玄関カット」メニューを軸に、パンフレットとホームページを作成した。新型コロナウイルス拡大により、高齢者、医療従事者やそのご家族からも注目を集めている。



2019年
10月
創業

ふらり甘味処
おちやのみ

ぶらり甘味処 おちやのみ

【飲食業】

新所沢の狭山茶と焼き団子中心の甘味処。「しんとこで狭山茶を楽しむ」というコンセプト設定と、事前広報・スタッフ採用を支援。目につきやすく立体感ある装飾・チラシを作成し、店舗をアピール。スタッフ募集要項作成や媒体選びもサポートし、結果10名を超える応募があった。現在は多くの常連客を持つ店舗へ成長。



2020年
1月
創業

サニーすまいるアシスト

【講師業】

中学校での講演を機に、性教育講師として独立。助産師や養護教諭、看護師、産業カウンセラーの経験から「子どもたちと女性の未来を応援する」をコンセプトに設定。販売戦略や情報発信を支援した。コロナ禍にはオンラインセミナーの企画や運営方法をアドバイス。現在は地域ママサロンなどで、活動の幅を広げている。



2020年
11月
創業

家出カフェ ターコイズ

【飲食業/美容業】

プチ家出した人のための会員制美容室&ヒーリングサロンのオープン資金として、クラウドファンディングを実施。サイトの選択からプロジェクトページ作成、リターン内容決定、開始前の情報発信などをサポート。結果は目標額の180%を達成。店舗入口のアプローチを予定よりグレードアップして完成させることができた。



2021年
1月
創業

Jolly Kids INTERNATIONAL SCHOOL

【教育業】

スロバキア出身の校長先生が開校するインターナショナルスクールのご相談。屋内外ミニアトリエでのアート活動や遊びを中心に英語を学ぶ独自カリキュラムに注目。行政窓口案内、マーケティング、集客、求人など多岐にわたるサポートを実施。開校直後から多数の生徒獲得、職員採用にも成功した。

創業セミナーの実績

好きなことをビジネスのカタチに 狭山市創業セミナー2020

●実施日程(全6回)

- 令和2年
- ・8月27日(木)
- ・9月5日(土)
- ・9月19日(土)
- ・10月3日(土)
- ・10月17日(土)
- ・10月31日(土)

●参加実績
累計178名

好きなことをビジネスのカタチに
自分で仕事したい！
商売したい！
創業に興味のある方
創業して間もない方
一步、
踏み出そう！
受講無料

日 時	令和2年 8月27日(木)・9月5日(土)・9月19日(土) 10月3日(土)・10月17日(土)・10月31日(土)
会 場	第1回：狭山市産業労働センター 異業種交流スペース(定員20名) 第2回以降：オンラインセミナーにて開催 (Zoomが主な会場、別途メールでお知らせいたします)
申込み	電話・メール・Faxまたは QRコードよりフォーム入力ください
問合せ	狭山市役所 産業振興課 企画立地推進室 ☎ 04-2954-1111(内線2353) ☎ 04-2954-6282 ✉ sangyo@city.sayama.saitama.jp

協賛：狭山市役所、狭山商工会議所、狭山市ビジネスサポートセンター
協力：狭山市商連

基調講演 株式会社LORANS. 福寿満希

「事業をつくる・つづけるということ～自分とお客様と従業員の幸せを作る～」

創業ワークショップ① Saya-Bizセンター長 小林美穂/有限会社アイデア 杉本剛敏

【商品・サービスを考える】そのサービスは顧客にどんな価値があるか？

【商品・サービス名を考える】顧客に「刺さる」ネーミングとは？

創業ワークショップ② Saya-Bizセンター長 小林美穂

【ビジネスモデルを考える】そのサービスは儲かるか？

創業ワークショップ③ Saya-Biz ITアドバイザー丸山恵子

【プロモーションを考える】誰に何をどのように伝え、購入につながるのか？

創業ワークショップ④ Saya-Bizセンター長 小林美穂

【収支計画を考える】「事業計画書」「収支計画」は何のために必要か？

【資金調達を考える】資金調達にはどんな方法があるのか？(飯能信用金庫)

創業ワークショップ⑤

【創業手続を考える】

税金・保険の確認ポイントから開業届提出まで
「創業前にここを確認!」(狭山商工会議所)

他機関との連携事例



地域の活性化支援も積極的に牽引! 「新型コロナウイルスに負けない! 支え合い、さやまプロジェクト」へ参画

狭山市役所 × 狭山商工会議所 × Saya-Biz

新型コロナウイルス感染拡大防止のための自粛要請を受けて、打撃をうけた地域経済の回復を目的とした活動。第1弾は、飲食店のテイクアウト情報を中心に、コロナ対策商品やサービスを紹介したwebページ「さやまのお店全力応援サイト」を公開。その他、狭山工業団地内の企業の昼食に、市内飲食店のお弁当を届ける「さやま大人の日替わり給食」(のべ1,531食を宅配)や、まるひろ入間店にて市内飲食店の商品を販売する「狭山市日替わりうまいものフェア」など、様々な取り組みを実施している。

<https://sasaeai-sayama.com/>

大学生がSNSを活用して企業をPR! インターンシップ講義を通じて 産学官連携をアレンジ

武蔵野学院大学 × Saya-Biz

産学官連携を目的としたインターンシップ講義を、単なる職業体験で終わらず「大学生が企業との関わりの中で成功体験を積む」内容にリニューアルしたいのご相談。「大学生のみならず企業にとってもプラスの機会にするには?」という視点で検討し、若年層をターゲットとする企業と学生をマッチングして、大学生の得意分野でありながらビジネスでも有効な、Instagramによる企業のPR支援をメインテーマに設定した。結果、マッチングした企業9社のうち、2社が売上アップ。1社は参加した学生さんのアルバイト採用に繋がった。



大学生が発信を支援した韓国料理店「コチュ」や多寿満ボクシングジムのウェブサイト



製造業の魅力を発信して売上増加や雇用につなげる 「彩の国オープンファクトリー2020 WEST」開催をサポート

川越狭山工業会 × 狭山工業団地工業会 ×

入間市工業会 × 埼玉県 × よろず支援拠点 × Saya-Biz

2018年に狭山市からスタートした彩の国オープンファクトリー。2020年は県内を東部・西部に分け、西部地域は入間市・狭山市を中心とした計画だったが、新型コロナウイルスの影響により、直前にオンラインでの開催に変更を余儀なくされた。運営・参加企業ともにオンラインに不慣れな環境下、コンテンツの提案から参加企業フォロー、西武文理大学とのマッチング、当日の市長対談モデレートなど運営全般をサポートした。



セミナー開催実績

企業再生の危機を乗り越え、 日本一を勝ち取った男に学ぶ 「自社の『価値』を生かす方法」 ～オーダースーツSADAの革命～

#経営者向け #事業戦略 #企業再生

【講師】佐田展隆氏
【日時】2019年4月26日(金)
【会場】秋山市民交流センター-第5会議室



株式会社佐田の佐田展隆氏を迎え、「破綻間際からの再生」「父から息子への事業承継」「BtoBからBtoCへのビジネス展開」など、中小企業であれば一度は向き合ったことのある悩みに対してどう向き合い、どう打ち勝ってきたのかについて熱くお話いただきました。

ベストセラー会計士・田中靖浩氏が語る 『会計の世界史』に学ぶ 商売のヒケツ

#経営者向け #企業会計 #商売繁盛

【講師】田中靖浩氏
【日時】2019年9月11日(水)
【会場】秋山市民交流センター-第5会議室



会計の知識がなくても分かる! 簿記/決算書/管理会計の生い立ちを世界史のストーリーにのせておもしろく生解説。加えて「なぜ『会計の世界史』という本は門外漢にも売れているのか?」を考察し、事業(商売)を成功させる秘訣を学びました。

スマホでOK!実践! 売れる商品写真撮影のコツ

#写真撮影 #映え写真 #演習

手持ちのスマホを使って、ホームページやブログ・SNS用の写真を魅力的に撮影するコツを、参加者が実際に持参いただいた商品を撮影しながらレクチャー。撮影時に使った、撮影お役立ちグッズ3点セットはセミナー終了後、無料で貸し出しました。



YouTubeをさらに活用! 動画編集・撮影のコツ

#オンライン #動画配信 #中級者向け

動画での情報発信をしたことがある方を対象に、撮影機材の選び方から動画の構成・撮影・編集のコツなどを、YouTube動画の事例をもとに解説しました。動画初心者向け「YouTubeでファンを獲得! 動画発信スタート講座」との連続講座。



Facebook・Twitter・Instagram… SNSで集客を 倍にする方法

#SNS #情報発信 #フォロワー倍増

Facebook・Twitter・Instagramなど、主要SNSの特徴や使い分けを解説するとともに、売上アップに繋げるSNS発信の秘訣を詳しく解説しました。



問い合わせ・申し込みが増える! ホームページ 改善のポイントセミナー

#ホームページ #情報発信 #キーワード

「ホームページをうまく活用できていない」「アクセス数が伸びない」という課題に対し、ホームページ改善の11のポイントを、事例を交えながら徹底的に解説しました。



今日から始める! PowerPointで 自在なチラシづくり

#デザイン #チラシ #演習

PowerPointを使って思い通りのチラシづくりをするときの基本操作と、作成する際に気をつけるべきポイントを解説。演習を通じて即実践いただきました。

各分野のプロフェッショナルが **全カサポート!**

聴きます!

業種に関係なく、あらゆる事業の相談にお応えします。

見つけます!

現状の課題や強みを見つけ、何をしたらいいかを明らかにします。

提案します!

お金を使わず、強みを活かした“一工夫”をご提案します。

伴走します!

成果が出るまで継続的に無料でサポートします。



センター長 小林美穂

埼玉県生まれ。一橋大学商学部卒業後、マスコミ業界を経て経営コンサルティングファームで事業変革手法を習得、BtoB企業の売上高増・製造コスト削減等の実績を残す。近年は新規事業創出支援や中小企業・起業家向けワークショップも多数経験、社会課題解決ビジネスに関する知見も深い。地域の伴走者として、対話を通じ新たな価値を見出していく。



プロジェクトマネージャー 渡部暁子

大学卒業後、外資系コンサルティングファームに勤務。デジタルトランスフォーメーション(DX)、営業戦略策定、グループ経営管理体制構築等の多岐に渡り、プロジェクトの立上げ・推進を多数経験。出身は近隣市であり、埼玉西部地域との関わりは深い。時代の転換期にある今、「未来の担い手が、自分の地域を“カッコいい”と誇りに思えるように」との精神で、地域の資産を事業成長につなげていく。

台湾生まれ、平成22年来日。趣味は狭山紅茶を飲むこと。平成25年静岡県文化芸術大学文化政策研究科卒業後、劇場コンサルタントとして、劇場・ホールの計画や開館支援に携わってきた。まちおこし・まちにぎわいを起こすためには、地域の核心となる地域の中小企業は不可欠な存在と感じ、狭山市に移住と同時に、狭山市ビジネスサポートセンター事務担当として埼玉県内の中小企業をサポートする。



事務担当 呉継菜

群馬県太田市出身。2007年4月 飯能信用金庫入庫。2021年3月より狭山市ビジネスサポートセンターに転出。学生時代はボクシング部に所属し多くの汗を流した。飯能信用金庫では学生時代に培ったフットワークを活かし、鶴ヶ島市、東村山市、北坂戸、さいたま中央、入曽、南大塚と、多くのお客様に支えられながら6店舗を営業担当者として経験。資金繰り相談業務やビジネスマッチング等の経験を活かし、地元中小企業様のために学生時代以上に体を使い、地域発展に少しでも貢献できるようビジネスサポートに進進していく。



金融アドバイザー 吉永匡志



デザイン アドバイザー 青松 基

神奈川県横浜市生まれ。2006年に武蔵野美術大学 視覚伝達デザイン学科を卒業し、株式会社コンセント入社。商業雑誌のデザインやアートディレクションを担当し、その経験を生かして企業や自治体のウェブサイト、パンフレット、広報誌等様々な情報発信の支援に従事。2019年に独立し妻とデザインユニット・sukkuを立ち上げ、「日常をたがやすデザイン」をコンセプトにデザイナーとして活動中。



ITアドバイザー 磯部百香

埼玉県生まれ。美容サロン・エステ専門のHP制作会社を立ち上げ、WebサイトやSNSを利用した集客を得意とする。品川区の創業支援センターで専門アドバイザーを務める中で、中小企業の活躍が地域の活性化に繋がることを経験。ITを苦手としている経営者のネット活用をサポートすることで、地域の中小企業の発信力強化と販路拡大の提案をしていく。



ITアドバイザー 丸山恵子

ウーマンネット株式会社代表取締役。起業家向け、中小企業向けにICT活用での販路開拓支援・マーケティング支援に従事。東京創業ステーションStartup Hub Tokyo 起業コンシェルジュ、中小企業庁ミラサポ登録専門家、熱海市・木更津市ビジネスサポートセンターITアドバイザーなど多方面で幅広い活動をしている。2016年6月内閣府男女共同参画局特命担当大臣表彰 女性のチャレンジ賞特別部門賞受賞。

狭山市ビジネスサポートセンター (Saya-Biz) 事業内容

相談業務を支援の柱にすえながら、定期的にセミナーやイベントを開催。
自己啓発やスキルアップ、人と人との交流を促進します。

経営相談 相談者とのコミュニケーションを大切に、
同じ目線に立った“人”による個別支援を重視。
新規事業開発、マーケティング、販売促進など、
経営全般に関する相談やサポートを行います。

セミナー・イベント ビジネスのステップアップを目指したセミナー、
課題解決に直結するテーマ別セミナー、
地域活性化を促進する講演会などを開催。
また、人と企業、企業と企業を結びつける
ビジネスマッチングの場をつくります。

**各種支援機関
との連携** 商工会議所、金融機関などと連携し、
相談内容に応じて適切な支援機関を紹介。
相談者の便宜を図ります。



狭山市ビジネスサポートセンター
Saya Biz

1時間のご相談 何度でも無料

ご相談のご予約・お問い合わせ

☎ 04-2946-8751

(受付 9:00~17:00)

E-mail: info@saya-biz.jp

【相談・受付時間】

火曜日～土曜日(祝日・年末年始を除く)

9:00～17:00(12:00～13:00を除く)



〒350-1305

狭山市入間川1-3-3 狭山市産業労働センター2階
(狭山市駅西口徒歩2分)

最新の情報はこちらをチェック!

ホームページ

<https://saya-biz.jp/>

Facebook

<https://www.facebook.com/sayabizpage/>



ホームページ



Facebook



note